

南越前町南条小の元校長、赤星昇さん(65)は福井市での講話をまとめた本「子どもたちの夢と幸せをつくる『絆』」が出版された。37年にわたる教員生活を基に、児童や保護者に送ったメールやアドバイスがしたためられている。

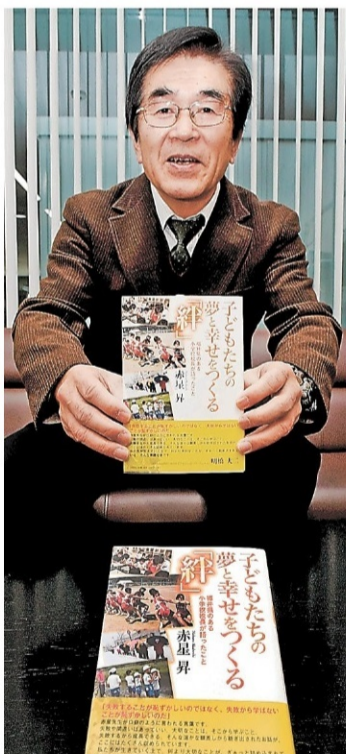
「失敗から学ぼうとしないことが恥ずかしい」

出版した冊子が東京の出版社の目に留まり、一部抜粋して書籍化された。▽児童たちへの講話集▽保護者への挨拶▽教育研究会での挨拶の3章構成。全体の7割を割いた児童への講話では、南条小に赴任直後の入学式の場面を盛り込んだ。「学校は間違えるところ」という話を引用し「失敗や間違いは恥ずかしいことではなく、失敗や間違いから学ぼうとしないこ

教員時代の講話一冊に

元南条小校長・赤星さん(福井)

児童、保護者へメール



自身の講話をまとめた本を手にする赤星さん=23日、福井新聞武生支社

とが恥ずかしい」と語りかけている。新1年生の保護者に向けては「他人のことを思い、他人のために役立つことが」と話している。赤星さんは「学校でのいじめや自殺が報道されているが、子どもは本来、安心0円で、県内外の書店で販売している。1976。税抜き1200円。若い先生たちが読んで、どうしたら成長し自立する上で大切な考え方を示唆している。考えるきっかけになれば」と話していた。